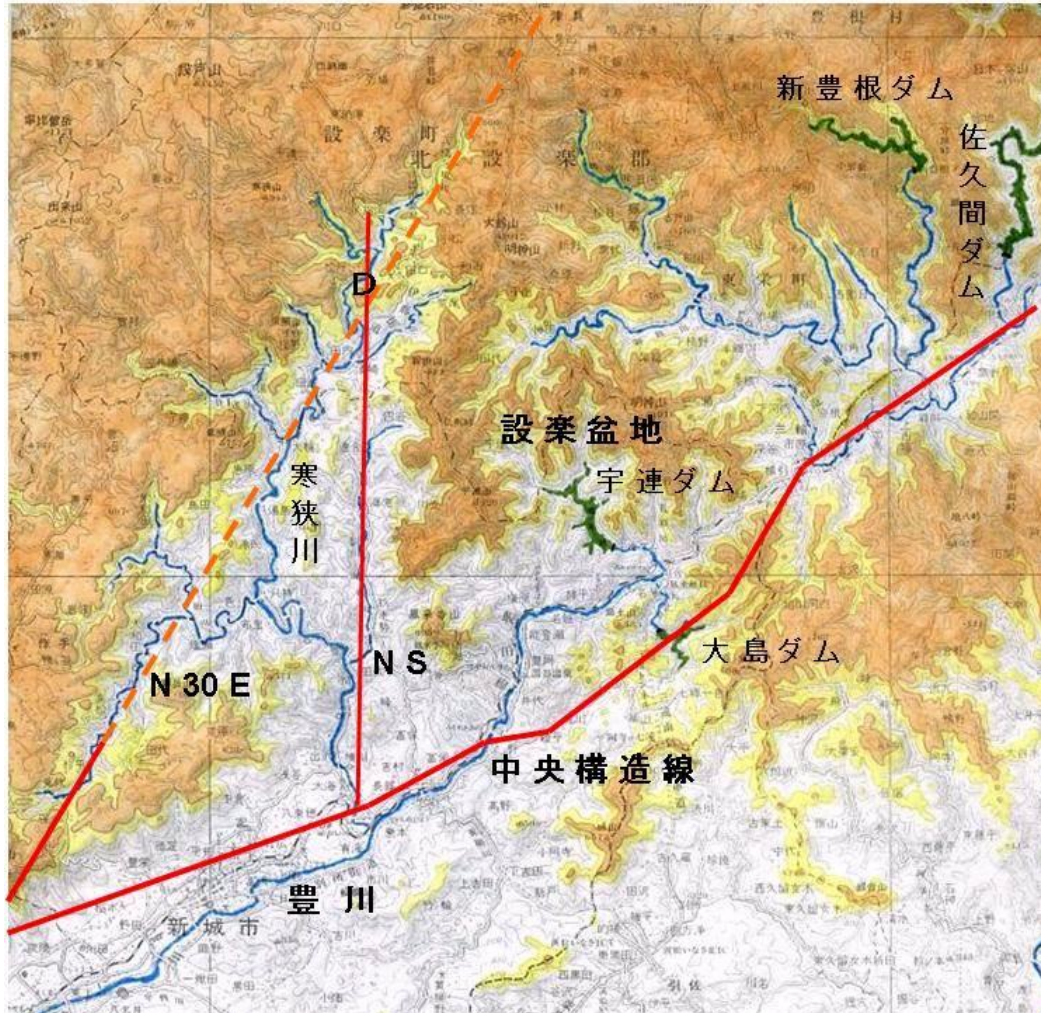


設楽ダム建設中止を求める会

<http://no-dam.net/>

第37号 2014年11月30日

危険極まりない設楽ダムは中止！の声を上げよう。



設楽ダム予定地周辺で見つかった断層（N27E：今回発見，NS：3月報告），D：設楽ダム

設楽盆地の東側、浦川から北北西に延びる断層群は、設楽盆地の東の境界と考えられてきました。いっぽう、西の境界については不明です。また、活断層については、愛知県防災会議認定の「疑いのある」1本以外は、設楽ダム計画地周辺には記載がなく、活断層の空白地帯となっています。設楽ダム計画地は設楽盆地の北西の端に当たるので、この辺の問題に注意を向けて地質地盤問題の調査をしています。

われわれが今回、本宮山山麓～中腹で発見した断層は、約300mの地形変位(ずれ)を伴う、大きなもので、活断層の疑いが強いものです。北東方向へ延長すれば設楽ダム直近に至ります。

中部地整は、設楽地域が活断層(第四紀断層)の空白地域であるという通説を根拠に、断層についての精査をせずに、建設に取り掛かろうとしています。地質調査の過程で調査に当たっている担当者(調査会社)は、活断層のいくつかの兆候を得ていると思われますが、地質調査を計画の最初から請け負っているまとめ役のコンサルタント会社が、ダム建設に影響する情報については、消したり、小さく見せかけたりしているのではないかと推測されます。

このまま放置すると、設楽ダムが建設されてしまい、奥三河から三河湾まで、流域の自然環境が壊されるばかりでなく、地域住民の命と財産に大きな危害が及ぶ恐れがあります。取り返しのつかなくなる前に、「全く不要で、環境を破壊し、危険極まりない設楽ダムは中止！」と声を上げましょう。
(文責：市野 和夫)

●活動報告 休むことなく活動してます。

- ・愛知県政クラブで記者会見を行いました。(2014年10月22日)

市野代表と伊奈副代表は地盤のもろさを指摘する記者会見を行いました。以下は翌日の中日新聞に掲載された記事です。

設楽ダム設楽ダム近い地盤もろい「第三紀層」

県庁で反対派指摘

「設楽ダムの建設中止を求める会」の市野和夫代表らが二十二日、県庁で会見し、ダム付近の地盤はもろく、建設によって大規模な地滑りなどの災害を起こす恐れがあると訴えた。事業主体の国土交通省中部地方整備局に精度の高い地質調査を求めたという。

市野代表らによると、ダム堤から数百メートル先の設楽町田口地区で今夏、貝殻の化石が発見された。一帯の地盤がもろく、水を通しやすい「第三紀層」という地盤であることを示しているという。

化石発見の評価について、会から依頼を受けた元京都工芸繊維大非常勤講師の紺谷吉弘さん(地質学)は「田口地区は第三紀層が一定の厚みで地下まで続いている証し」と話している。

ダム完成後、ダム湖の水が地中を浸透し、田口地区の地下水を汚染したり、地滑りを引き起こしたりする恐れがあると主張している。

中部地整はこれまで、田口地区周辺の地盤を強固な岩盤としてきたが、市野代表らは「中部地整の説明は誤り」としている。

中日新聞(県内版)2014年10月23日付

- ・設楽ダムの建設中止を求める報告と学習会 地盤問題第2弾を開催しました。

やっぱりダムを造ってはいけない設楽ダム建設予定地の地盤について
～建設強行は、建設費用の膨張と流域住民に大きな災厄をもたらす～

と き：2014年9月14日(日)午後1:30～4:00

ところ：カリオンビル(豊橋市民センター) 中会議室(4階)

会場は満席でした。(写真下)



報告会の様子は

以下のyoutube(三遠テレビ)でご覧になれます。

歯槽膿漏に高級入れ歯、設楽の地盤にダムは無理

額を投じて、立派で堅固なダムを造っても、砂上の楼閣。側面は砂山みたいなもので、山と堰堤との接合部から水が漏れ、山は洗われて崩壊、堰堤のみ残る、ダム湖の側面には断層も多く、地盤も軟弱、ここに水圧がか...

以下は市野和夫代表のことば

事実はまったく違うことを証拠に基づいて主張できる所まで来ました。昨日の行事を踏まえて、二点に絞って、ダム建設を中止するべきだということを、分かりやすく示していくのがいいのではないかと、考えています。

(1)田口西方の地盤について、標高400mよりもずっと下まで第三紀層であることがはっきりした。

(証拠：貝化石、J2-3 ボーリング・データ、国作成の地質図

(2) 田口西南方の地山を横断する規模の大きい破碎帯が確認された。

(証拠：長篠から北上する規模の大きい断層として連続していることを示す露頭群、平成5年度の設楽ダム地質調査報告書)

※(1)、(2) から、言えることはダム湖の左岸側から、水漏れが確実に生じます。

田口の市街地の地下にダム湖貯水が浸透し、いろいろな問題をひき起こします。

地すべり、湿地化、液状化、地下水汚染が起きることが予測できます。地震との複合災害も心配です。

ここにダムを造ってはならないとの理由は以上の二つで十分です。



●立ち木トラスト山の手入れをしました。(2014年9月14日)

今回、既に5年が経ったトラスト山に入りシュロ縄、木札の点検、を行いました。古くなって名前が読めないような木札がかなりありました。またシュロ縄が切れて下に落ちているものもありました。今後は古いトラスト山から順番に手入れをしていく必要があります。

●「第6回設楽を歩く」で碁盤石山に上りました。(2014年10月28日)

当日の豊橋は雨でした。それでも、と思い集合場所のアグリステーションなぐらへ向かいしました。曇り時々晴れ(下山したら雨)という天候で、集まったのはいつもの4分の1くらい、7人で出発しました。ところどころ色づいた山道を、高森さんのガイドの説明を聴きながら歩きました。



気持ちよかったです。富士見台からの展望は素晴らしかった。

地元の方が碁盤石山の名前のいわれについて説明されるなど、楽しく有意義な1日でした。

花崗岩地帯で土石流の痕跡が谷筋にはみられるなど、地元住民の方がよく観察しながら歩くことが大切だと感じました。山頂の富士見岩からは、眼下に津具から田口まで、また二つの明神山、大鈴山、岩小屋山、鞍掛山、宇連山、棚山と、設楽火山の外輪山が一望でき、設楽盆地全体を見下ろすのに絶好のポイントだと、分かりました。

山頂付近にある碁盤石(女岩)と付近の男岩、佐倉神社、ブナの古木など、見るものが多くありました。高森さんの解説も素晴らしかった。

(写真は碁盤石山の名前の由来を話す高森さん)

●国土交通省中部地方整備局局長宛に

設楽ダム建設予定地周辺の地質地盤についての公開質問状(その2)を提出しました。

(2014年10月10日)

回答締め切りを11月15日としましたがまだ回答はありません。

当局に問い合わせしていますが、検討中というのみ。どうやら年内には回答は出せないようです。

11月21~24日山梨県八ヶ岳
清泉寮で行われたパタゴニアの
環境ツール研修に今年は2人参加しました。



●「設楽ダム予定地周辺の地質ガイド」を作成しました。(同封しました。)

今後は地質見学会を開催し、このガイドリーフレットを利用する予定です。

これからのイベント紹介

豊川流域自然学校では古民家見学会と「懇親会&年間計画を立てる会」

を開催します。(古民家見学については同封のチラシを参照)



開催日:12月6日～12月7日

プログラム:

12月6日:午後1:30～3:30

当日の夜は「津具の四季彩」で「豊川流域自然学校懇親会年間の計画を立てる会」を話し合います。

参加費 1泊2食付 5,500円(懇親会のみは2500円。飲み物代は別途・持ち込み可)

懇親会は午後6:30～始めます。古民家見学に参加できない方も懇親会から参加してください。

入会しようかな～とお考えの方も参加可、です。

- ・設楽を歩く・立ち木トラスト山の手入れ日、・森林保全の学習会、・特産物料理教室
- ・ダムネーション上映会の取り組み、などの打ち合わせをします。

(四季彩:設楽町津具東山2-119 0536-83-2329)

12月7日は地質視察に参加の予定。 宿泊の参加を希望の方は、奥宮までご連絡ください。

メール、携帯、FAX、電話のいずれもOKです。12月2日までにお知らせください。

設楽ダム建設予定地の

地盤見学会を開催します。

と き:2014年12月7日(日)

集合場所:設楽町役場駐車場

北設楽郡設楽町田口辻前 14

集合時間:午後1:00

約2時間見学します。

講 師:伊奈紘副代表のガイドで見学します。

※申し込みの必要はありません。

歩きやすい恰好で参加ください。

かつて海であった
証拠の貝化石が見
つかるかも



DAMNATION

当会は全国一斉上映会に参加します。

同封したチラシにあります

すように2015年1月11日

アイプラザ豊橋で開催します。

たくさんの人に見ていただいて、川を開放することがいかに大事なことを知ってもらいたいと思います。

ご協力をお願いします。



設楽ダムの建設中止を求める会: <http://no-dam.net/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

郵便振替の口座番号:00870-1-134146 加入者名:設楽ダムの建設中止を求める会

他銀行からの振込みは、ゆうちょ銀行【店番 089(ゼロハチキュウ店) 当座 0134146】

設楽ダムの中止を求める会の年会費は2000円です。

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp